

# 都道府県金融広報委員会の活動紹介

## 草の根で広める 金融学習

静岡県金融広報委員会

静岡県金融広報委員会(事務局・日本銀行静岡支店)では、静岡県、東海財務局静岡財務事務所と連携し、県内の幅広い層に対する金融知識の普及や啓発に努めています。20年度の重点施策としては、「金融経済情報のより充実した提供」、「金融経済学習の支援」、「学校や地域と連携した金融教育の推進」

を3本柱に据え、積極的に取り組んでいく方針ですが、特に学習支援活動を強化するため金融広報アドバイザーを新たに3名委嘱し、合計10名に拡充しました。

そして、金融広報アドバイザーの派遣事業として、県内各地の自治体などが主催する講座への派遣に加え、今年度は新たに静岡県警察との協力による「金融トラブル」に関するイベント等への派遣や、高校生を対象とした「おかねの知識」講座、小学生の保護者を対象とした「おとなが学ぶ子どもの金融教育」講座などを企画しています。

また、夏休み期間には、日本銀行静岡支店との共催で「にちぎん親子教室おかねのイロイロ」と題した金融教育講座を開催しました。親子教室は平成16年度より毎年開催しており、これまで延べ1700名強の親子に参加いただいています。子どもたちからは、「自分の小遣いは、親が働いて得たお金だから、大事にしたい」などの感想が寄せられています。

このように、当委員会では関係機関と緊密に協力しつつ、静岡県内において、いわば「草の根運動」のような形で活動を展開しており、今後とも、より多くの方々にお金に関係



する有益な情報等を広めていきたいと考えております。

## 手作り 新たなチャレンジ

山形県金融広報委員会

当委員会は、事務局は県庁、企画は日銀山形事務所、と運営を分担しながら意思疎通よく新しい取り組みに挑戦しています。

一つは教育委員会と当委員会とで「金融教育専門委員会」を開催しているということです。この専門委員会が効果を奏して、委嘱ゼロが続いていた金融教育研究校の委嘱が

2校となったり、地元銀行などのご協力も得て3日間の中学生に対する職場体験プログラムを実施する、といった成果が出てきています。

また、お金との付き合い方を手軽に考えてもらえるよう「お金の標語コンクール」を昨年度より開催しています。学校単位で応募していたり、金融教育推進でも成果が出ています。

当委員会では、手作りでの活動展開が自慢です。例えば、総会会場は県庁の会議室です。大講演会や大広告の替わりに、金融広報アドバ

イザー、財務事務所、日銀、金融機関職員などを講師としたオムニバス「知るぽると生活講座」を県内各地で開催したり、フリーペーパーや市内バスへ広告を出すようにしています。手作りには手がかかりますが、それが活動の手心えとなっています。こうした当委員会の活動を支えているのが、事務局、財務事務所、日銀、金融広報アドバイザーの「チームワーク」です。皆さんノリがよくて、知るぽるとのタスキで花笠祭りにも参加しています。



「お金の標語コンクール」ポスター

